

(1)事業の概要等

事業番号	B0904-4
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	敬老会等運営事業				担当部	福祉部					
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和6年度以降		担当課	地域包括ケア推進課					
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	9	展開 方向	4	担当係	長寿福祉係				
	予算区分	一般会計	款	3	項	2	目	1	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市敬老金支給要綱、小牧市ひとり暮らし高齢者交流事業実施要綱				事業種別	一般事業					
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	○敬老会 敬老会を開催し、長年にわたり社会に貢献された高齢者に対し、感謝の意を表すとともにその長寿をお祝いする。 ○ひとり暮らし高齢者交流会 ひとり暮らしの社会的孤立から精神的孤独に陥りやすいひとり暮らし高齢者の交流の場を提供し、自らの生活の向上に努める意欲を促す。 ○高齢者記念品 長年にわたり社会に貢献された高齢者に対し、感謝の意を表すとともにその長寿をお祝いする。										
	対象 (何・誰を対象に)	○敬老会 小牧市に住所を有する75歳以上の高齢者 ○ひとり暮らし高齢者交流会 小牧市に住所を有する70歳以上のひとり暮らし高齢者 ○高齢者記念品 小牧市に住所を有する100歳の高齢者										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	●令和3年度の実施内容 ○敬老会 老人福祉法第5条により「国民の間に広く老人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、老人に対して自らの生活の向上に努める意欲を促すため」を主旨として老人の日が制定されているが、この主旨に沿って市主催により敬老会を開催した。 <開催日> 令和3年11月26日(金) <対象者> 75歳、76歳の市民(参加者数 610人) ※従来は75歳以上の方を対象としていたが、新型コロナウイルス感染拡大対策として、開催日の延期及び対象者の規模を縮小し、市民会館において式典及び余興を開催した。 <参加者粗品> 紙パックのお茶 <祝品> 塗り箸 <敬老金(こまきプレミアム商品券)> 80歳5千円、85歳1万円、90歳1万円、95歳1万円、100歳及び105歳1万円 (受領者数 3,001人) ※令和2年度から対象者全てに簡易書留による郵送 <余 興> 世界最速の三味線・和太鼓、中国大黄河雜技団 ○ひとり暮らし高齢者交流会 70歳以上のひとり暮らし高齢者が交流できる会を開催した。(参加者数 241人) <開催日> 令和3年11月9日(火)、10日(水) <対象者> 70歳以上のひとり暮らしの市民 <余 興> 歌謡ショー ○高齢者記念品 100歳の方に記念品を配布した。(受領者数 23人) ●直接経費(令和3年度決算) 敬老金 21,900千円 高齢者記念品 203千円 敬老金支給業務委託料 451千円 敬老会運営委託料 473千円 ひとり暮らし高齢者交流事業委託料 1,784千円 パス借上料 1,287千円 その他 3,378千円 ●直接経費(令和4年度予算) 敬老金 24,700千円 高齢者記念品 275千円 敬老金支給業務委託料 650千円 敬老会運営委託料 599千円 ひとり暮らし高齢者交流事業委託料 2,500千円 パス借上料 1,650千円 その他 4,066千円 ※高齢化に伴う対象者数が増加していることから、令和3年度以降についても引き続き、開催方法及び対象者を検討する。										
受益者負担	無											

(2)事業費

		項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	33,052	34,417	33,914	29,476
		国・県支出金	千円					
		その他	千円					
		計(A)	千円	33,052	34,417	33,914	29,476	
	対前年比	%	—	4	△ 1	△ 13		
	予算額	千円	36,911	37,176	43,360	32,656	34,440	
人件費	正規職員	人	0.4	0.4	0.4	0.4		
	正規職員(平均賃金)	千円	2,994	2,994	2,994	2,994		
	その他職員	人						
	その他職員(時給×時間)	千円						
	計(B)	千円	2,994	2,994	2,994	2,994		
事業費合計(C=A+B)		千円	36,046	37,411	36,908	32,470		

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		9		展開方向		4	
指標名		単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4	
1									
2									
3									

指標	指標ほか		単位	H30	R1	R2	R3	R4	
	成果指標	敬老会参加者数	人	目標	—	—	—	—	—
				実績	3,164	3,200	0	610	
	敬老会対象者数	人	目標	—	—	—	—	—	
			実績	2,335	2,470	2,821	3,001		
	活動指標	敬老会対象者数	人	目標	—	—	—	—	—
				実績	17,586	18,541	19,400	3,025	
	敬老会支給対象者数	人	目標	—	—	—	—	—	
			実績	2,350	2,486	2,834	3,004		
	単 事 業 あ た り	受益者数(a)		人					
受益者あたり事業費 (=C/a)		円	-	-	-	-			

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの			
	事業の達成状況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老金の支給額については、80歳5千円、85歳1万円、90歳1万5千円、95歳2万円、100歳以上3万円を令和3年度から80歳5千円、85歳1万円、90歳1万円、95歳1万円、100歳以上1万円にする見直しをした。また、90歳以上記念品についても令和3年度から廃止にした。 ・敬老金を対象者全てに書留郵送としたが、配布率が99.90%と高い結果であった。 ・高齢化の進展により、敬老会対象者数及び敬老会支給対象者数は増加傾向にある。 				
	今後の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老金等の対象者が年々増加していくことが予想され、今後も事業費の増加が見込まれることから、事業の継続性を図るため適正な見直しを行っていく。 ・敬老会の開催については、75歳以上としている対象者の規模を縮小の方向で見直しを行う。 				
事務事業評価による額	千円	節	細節	細々節		